

よこごし "本の杜"がオープン

横越地区公民館文化祭 2025 に、『よこごし"本の杜"』がオープンします。地域の皆さんがお読みに
なった本が来場された方の目にとまり、手に取り、本をめくる時間をプレゼントします。

そこで、皆さまから“この本、ぜひ読んでほしい”と思う私がお薦めの本の提供についてご協力のお
願いです。

提供いただける
対象の本

- その一 他の方にも読んでほしいなあと思う(思える)本
- その二 今後自身で読むことがないと思う(思える)本



提供方法

提供期間 9月30日(火曜)まで
提供場所(受付窓口) 横越地区公民館(直接お持ち込みください)

★注意事項

- 本の受入れは横越地区公民館に一任となります。
- マンガ・雑誌・芸能人(タレント)の写真集・AV(視聴覚)資料(郷土資料等をのぞく)、冊数の多い図鑑(シリーズもの)等、汚れや書き込み、破れのあるもの、当館(公共施設)に提供する本として適さないと判断するものは提供対象の本から除きます。

横越文芸誌(秋号) 作品(俳句・短歌・川柳) 募集

- 応募数 1人5句(5首)まで
- 俳句のお題 秋季雑詠
- 応募メ切 10月10日(金曜)
- 応募方法 はがき・封書・FAXで、原稿末尾に住所・氏名・俳号等(ある方)電話番号を明記してご応募ください。
- 応募先 横越地区公民館「横越文芸誌」係
※横越文芸誌は年4回発行。秋号は11月末に発行で横越地区公民館にあります。



令和7年度「子育てひろば」の開催日のお知らせ(10月~3月)

【第2火曜日】横越地区公民館保育室

R7. 10/14、11/11

R8. 1/13、2/10、3/10

開催時間 午前10時~午前11時30分

申込不要、時間内出入り自由♪



横越地区公民館

【発行】新潟市横越地区公民館 〒950-0218 新潟市江南区いぶき野1-1-2

▼ TEL 025-385-2043 FAX 025-385-4431 Mail yokogoshi.co@city.niigata.lg.jp

▼ 開館時間 月曜~土曜 9:00~21:30 日曜 9:00~17:30

▼ 休館日 第4月曜日(祝日の場合翌日) 年末年始(12/29~1/3)

横風

たより



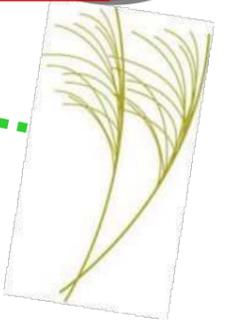
秋号

横越地区公民館

回覧

令和の公民館も……。

新潟市横越地区公民館
館長 山本 英二



2025年も残り約3か月余り、21世紀も1/4が過去形になりつつあります。20世紀の終わりに
前にして、21世紀はどんな社会・時代になるのだろうとメディアで取り上げていた記憶がありますが、
当時の未来予想図よりはるか先を駆け巡っているように思えます。この先、近未来の社会を描いてもそ
れを上回る風景が待っているのかもしれませんが。

2025年は『昭和100年』というメモリアルイヤーでもあります。“昭和の長嶋茂雄さん”が亡くなり、
あの時代が遠くなった感がする一方、昭和を楽しめる空間が若い人の心をつかんでいる様子も見聞き
します。SNS 社会を生きる若い人たちが、間のある昭和の暮らしを体験したら居心地よい場と感じるの
でしょうか。昔も今も1日24時間は変わらなくても、その中身は異国の地に身を置く感覚になるかもし
れません。

当館も広域合併(平成17年)前を含め20世紀に誕生し、21世紀も変わらずここ(横越)にありま
す。昭和~平成~令和と公民館の歴史を重ねるなか、毎年2月開催の『新春俳句大会』は半世紀の時
を刻んできました。参加される方のお顔に入れ替わりはあったにせよ、俳句の世界に没頭する空間は今
も昔も変わらないのでないでしょうか。一方、事業の新旧交代により、写真等のみで当時の雰囲気を知
るものもあります。聞くところによると、公民館主催で村民大運動会が行われていたそうで、まちの沿道
を走る競技もあったとか。もしかしたら昭和の楽しみ方の一つに公民館があったのかもしれない。

2025年秋が来ます。食欲、スポーツ、文化、読書……など、秋はいろんな顔をもちます。当館も次の
ような秋を用意しますので、ぜひ令和の横越地区公民館を楽しんでいただければと思います。

- 食欲の秋 我が家の味噌で食欲の秋を 10月 ※対象 昨年度、味噌づくりに参加したご家族
- 文化の秋 横越地区公民館文化祭2025 10/25~26
- 読書の秋 よこごし"本の杜"オープン 横越地区公民館文化祭2025にて



横越地区公民館文化祭

- ★いつ 10.25(土)～26(日)
 - ★どこで 横越地区公民館
 - ★おしながき 作品展示 ステージ発表
学び・体験ひろば
本のひろば あそびのひろば
SDGs チャリティー販売・軽食販売など
- ※10月中旬、当日のプログラムをご案内します。



横越つ子明日(みらい)への扉

- ★いつ 11.5(水)13:40～14:30
 - ★どこで 横越中学校
 - ★おしながき 人生の先輩たちによるお話と
生徒の交流
- 【対象】
横越中学校生徒 3人のゲストスピーカーが
の皆さん
生徒の皆さんにご自身の人生における選択をお話。
子どもたちの明日(みらい)を少し押してくれます。



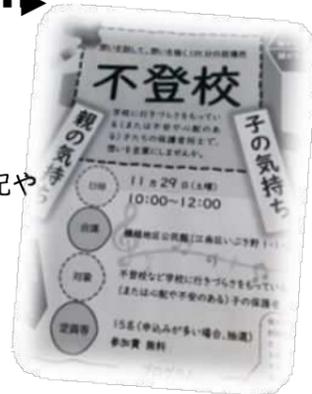
幼児期家庭教育学級

- ★いつ 11/7・14・28(いずれも金)10:00～12:00
 - ★どこで 横越地区公民館
 - ★おしながき (1)母親のイライラ、こどものイライラへの対処法
(2)幼児期の心の発達、こどもへの接し方など
(3)こどもの食育
※保育あり。
- ※10月ごろ、区だよりなどで募集案内します。



不登校
親の気持ち・子の気持ち

- ★いつ 11/29(土)10:00～12:00
 - ★どこで 横越地区公民館
 - ★対象 学校へ行きづらさをもっている(または心配や不安のある)子の保護者
 - ★おしながき 関係者による話題提供
参加者同士の情報交換や交流など
- ※10月ごろ、区だよりなどで募集案内します。



～～スピーカー 今井麻奈美さん(子育て応援ファシリテーター)

横越を支える人たちの話を聴くシリーズ。4回目は子育て応援ファシリテーター 今井麻奈美さんです。

Q 子育て応援ファシリテーターになったきっかけは何ですか。

こどもが生まれ、地域の子育てサークルに参加したことをきっかけに、公民館主催の「これからの横越を考えるワークショップ」に参加しました。当時はまだ年齢も若く、子育てに関する課題などを話してもなかなか聞いてもらえず、モヤモヤしていたのですが、「ファシリテーター」がいる回でさまざまな立場の人の意見が平等に扱われることを目の当たりにし、自分もファシリテーターになりたい!と思ようになりました。子育て真っ只中で活動することに様々な声もありましたが、今だからこそ始める意味があると思い、第2子をおんぶしながら活動をスタートしました。



Q どういうところで活動していますか。

主に公民館の講座や地域の話し合いの場で活動しています。家庭教育学級の参加者から「話し方がよかった」とのお声をいただくことが多く、自分の強みなんだと教えてもらいました。活動を始めたころは心が折れそうなこともたくさんありましたが、今ではこの場に集まった人たちと「ともに場をつくる」という意識を持ち、取り組んでいます。

Q 子育てを取り巻く環境をどのように感じていますか。

環境や物理的な面での変化(改善)はありますが、子育て応援ファシリテーターを始めた12～3年前とママたちが抱える子育ての悩みは大きく変わってなく、むしろ多様化しているように感じます。社会の子育てへ向ける「まなざし」が優しくならないと。子育てしている女性が感じる社会との距離に目を向けながら、これからも活動していきたいです。「子育て応援ファシリテーター」は自分が名乗ったものであり、職業ではありません。次の子育て応援ファシリテーターが出てくるようになるといいなあと思います。

